

## アルジェリア政治・経済月例報告

(2023年4月)

2023年4月

在アルジェリア日本国大使館

### 内政

- 2日、テブン大統領は閣議を開催。食料品関連給付金に関する改正法案、税関関連業務の電子化及び公的金融機関の上場について議論。経済・観光・都市用地の分配を規定する3つの大統領令案の作成、また財務相及びデジタル・統計相に対し、対象分野におけるデジタル化につき6か月以内の実施を指示。
- 5日、ベンアブドゥルラフマーン首相は政府会合を開催。国立自営業者機構の組織及び運営に関する政令並びに自営業者登録に関する政令等について審議。
- 12日、ベンアブドゥルラフマーン首相は政府会合を主催。会社設立の促進、行政行為に対する処罰軽減、イスラム金融の手段の具体化等に関する商法の改正につき議論。
- 13日、国民評議会（上院）は麻薬及び向精神薬の使用及び取引対策防止法、人身売買対策法、並びに情報に関する組織法を採択。
- 16日、テブン大統領は閣議を開催。年金及び給付金の改革に関する改正法案を審議。
- 19日、テブン大統領はラマダン明けの祝日に際し、恩赦に関する大統領令に署名。
- 20日、テブン大統領はラマダン明けに際して国民に対する祝意のメッセージを発信。● 30日、テブン大統領は閣議を主宰。ラマダン明け祝日を2日から3日に延長する提案を承認した他、違法建築の規制に関する法案及び住居証明偽造対策に関する法案を審議。大統領は、中型消防飛行機6機の購入、ドローン等森林管理技術刷新のためのスタートアップの競争入札を指示。

### 外交

- 3日、テブン大統領はラマダンの挨拶としてアサド・シリア大統領と電話会談。
- 3日、アッターフ外相はコロナ仏外相と電話会談し、二国間関係の進展及びテブン大統領の訪仏について協議。
- 5日、外務省はイスラエルによるアル・アクサー・モスク襲撃を最も断固とした意味で非難する旨のコミュニケを発信。
- 9日、テブン大統領はライースィー・イラン大統領とラマダンに際して電話会談。両大統領は将来の相互訪問について原則合意した。
- 10日、シェングリハ国軍参謀総長は大統領の代理としてブラジルを公式訪

問。11-14日に開催される第13回防衛・安全保障展示会に参加。12日にはモンテイロ・ブラジル国防大臣と会談。

●10日、第1回アルジェリア・サウジアラビア政治協議会合が実施。アルジェリア側からは外務省アラブ局長、サウジ側からはアフリカ担当国務次官が参加し、二国間関係及び地域・国際問題について議論。

●11日、アッターフ外相はクラヴィーニョ・ポルトガル外相と会談。二国間の協力関係強化及び政治対話の緊密化について議論。

●15-17日、ミクダート・シリア外相が当国を訪問し、テブン大統領及びアッターフ外相と会談。

●15日、外務省はコミュニケにて、スーダンで生じた軍事衝突につき重大な懸念を表明し、紛争当事者に対して停戦及び対話を呼びかける声明を発出。

●16日、外務省はコミュニケにて、アラブ・マグレブ連合（AMU）AU常駐代表の信任状捧呈に関する非難声明を発出。

●16日、ベラーニ外務事務次官はデコット仏外務事務次官と会談。

●18日、テブン大統領はエルドアン・トルコ大統領と電話会談を実施。二国間関係の強化の他、スーダン情勢について対話及びスーダンの利益を優先する重要性を強調。

●18日、テブン大統領は国連事務総長、AU議長、及び政府間開発機構（IGAD）事務局長に宛てメッセージを発出し、スーダンでの紛争について事態の悪化及び停戦のため緊急の共同行動を取ることを呼びかけた。

●19日、歴史及び記憶に関するアルジェリア・仏混合委員会の第一回会合がオンラインにて実施。

●20日、テブン大統領はラマダン明けに際してエルシーシ・エジプト大統領及びサイド・チュニジア大統領と電話会談し、お互いの国民に対して祝意を伝達。

●23日、外務省はコミュニケにて、マリ中部モプチ州セヴァレ空港地域でのテロ攻撃について非難声明を発出。

●23日、テブン大統領はマクロン仏大統領と電話会談。テブン大統領の訪仏を6月下旬に延期することで合意。

●24-25日、アッターフ外相はテブン大統領の特使としてモーリタニアを訪問。ガスワニ大統領及びビラール首相と会談。

●25日、テブン大統領はUAE大統領特使と会談。

●26日、アッターフ外相はテブン大統領の特使としてマリを訪問。ゴイタ暫定大統領、ジャウ暫定国民評議会（CNT）議長及びジョップ外相と会談。

●25日、テブン大統領によるスーダンにおける在留国民及び友好国の国民の退避援助指示を受け、国軍の飛行機にて一部在留国民が帰国した他、パレスチナ及びシリア人の退避を援助。

●27日、アッターフ外相はニジェールを訪問し、バズム大統領及びマスドゥ外

相と会談。

- 27日、国防省は、ニジェール軍参謀副長ブーラーマー准将が当国南部を訪問し、当国軍第6軍管区司令官と会談、同軍と国境での共同パトロール実施に関する合意を発表。
- 28日、外務省は、ブルキナファソにおける軍を標的としたテロ攻撃について断固として非難する旨の声明を発表。
- 30日、ムデンダ・ジンバブエ下院議長が当国を公式訪問し、上下両院議長と会談。3日にはアッターフ外相と会談。
- 30日、グジル国民評議会議長はアラブ議会議長と電話会談。

## 経済

- 2日、エネルギー・鉱業省は、5月から12月末まで、原油生産枠を自主的に4万8000バレル/日削減する旨発表。
- 3日、ファーイド財務相は、国家決済委員会の設立による決済手段の整備、デジタル通貨の創設、イスラム金融に関する規程を含む、金融及び信用に関する法案を国民議会（下院）に提出。
- 3日、アルカブ・エネルギー・鉱業相とワリード知識経済・スタートアップ・零細企業相は共同で、石油製品や電力管理分野においてアルジェリアの新興企業が開発したデジタルソリューションや電子決済手段の開発に関する会議を開催。
- 4日、アルカブ・エネルギー・鉱業相は、中国の国家化学技術グループCNC ECの副社長と面会。● 5日、商業・輸出促進省は、再販売用の無加工製品を扱う輸入業者を招集し、輸入業者の持つ輸入許可書を取り消した。
- 10日、ソナトラックのCEOとアルジェリア宇宙庁（ASAL）の事務局長は、ASALが開発した宇宙技術をソナトラックが利用するのを許可する契約書に署名した。
- 11日、国民議会は、通貨及び融資に関する法案を可決した。● 11日、ソナトラックは、2022年におけるLNG生産量が2280万立法メートル、LPG生産量が830万トンであり、2023年第1四半期に、トゥーグラやイリジ、ハッシ・ルメルで炭化水素鉱床を6か所発見したと公表した。
- 11日、国営銀行BNAは、同銀行の子会社であるアルジェリアン・セネガル銀行が、セネガルでの営業許可を取得たと発表。アルジェリアの銀行が海外で事業を行う最初のケースとなる。● 13日、アウン産業・製薬相は、ボルボと仏ルノーから、ブリダ島のメフタでトラックの組み立てを行うにあたり許可申請があったことを発表。
- 14日、国営鉄鋼公社（FERAAL）とトルコのトスヤル鉄鋼コンビナートの間で鉄鉱石精鉱の工業設備建設に関するパートナーシップが締結。
- 15日、中国自動車メーカーJACの当地パートナーであるEmin Auto社は、2023年5月に初出荷の自動車が2万台届くことを発表。

- 16日、ハッカール・ソナトラック総裁は、アルズーにてメチル-tert-ブチルエーテル（MTBE）製造コンビナートにかかる進捗を確認。試運転は2025年6月の予定。
- 23日、炭化水素規制庁（ARH）は、2022年の国内の燃料消費が3%増加の1770万トン（1年で300万トンの増加速度）を記録したと発表。また、年900万トンのディーゼル生産は、燃料転換計画により2030年までに1250万トンに増加するとの見通しを発表。
- 23日、中国自動車会社Geelyは、産業・製薬省から輸入に係る事前許可を取得し、近いうちに、最終許可が取得できる見通しを発表。
- 25日、財務省はアルジェリア中央銀行の権限を強化し、現在の銀行水準に合う銀行制度への改革を目的とする「通貨及び融資に関する法案」と、公的資金源の透明化と管理の改善を目的とする「金融及び銀行に関する法案」を国民議会の経済・金融委員会に提出したと発表。
- 28日、当地Biocare社は、40万箱の国産インシュリンを30日から国内市場に出荷する旨発表。

## 治安

- 1日、テベッサ県警察は情報に基づき、同県シェリア地区において歴史的遺物を密売していた2人を逮捕したと発表。家宅捜索により、古代ローマ時代やビザンツ帝国時代に遡る貨幣661点を押収するとともに、カラシニコフ、マカロフ等の銃弾83個を押収した。
- 6日、国軍は3月29日から4月4日までの掃討作戦でテログループ支援者14人を逮捕したうえ、タマンラセット県においてFMPK型機関銃1丁を押収したと発表。
- 10日から11日までの間、ティジ・ウズ県内において、夜間で無人となった税務署に空き巣犯4人が侵入し14万ディナールを窃取して逃走。
- 10日、ベジャイア県警察は、若い女性11人と男性7人から成る売春組織を検挙し、違法薬物と刃物を押収したと発表。
- 11日、ブイラ県警察は、押し込み強盗犯グループ5人を逮捕したと発表。
- 13日、国防省は5日から11日までの国軍による掃討作戦でテログループ支援者8人を逮捕したと発表。
- 18日、国軍は国境をまたげて活動する8人から成る組織犯罪グループを犯罪グループ結集、銃器・弾薬不法所持及び武器を用いた窃盗の廉で逮捕し、カラシニコフ小機関銃3丁、自動拳銃1丁及び四駆車両1台を押収したと国防省を通じて発表。
- 20日、国軍は12日から18日までの掃討作戦でテログループ支援者3人を逮捕したと発表。
- 20日、憲兵隊は、ブリダ県ブガラ地区において、未成年女性が誘拐されたとの通報を受けて捜査し、38歳の犯人の男を逮捕、被害者を救出したと発表。

- 23日、トレムセン県マグニア地区において、イマーム（イスラム教指導者）がモスクから出た際、若者に刃物で襲撃され、それを別の若者が救助しようとしたところ顔を刺された。イマームは重傷を負い、犯人は逃亡中。
- 24日、国軍は23日にボルジ・バジ・モクタール県においてテロリスト1人が軍当局へ投降したと発表。投降した人物はサヘル地域で活動するテログループに2017年から参加しており、投降時、FMPK型機関銃1丁、カラシニコフ小機関銃1丁、弾倉3個、弾帯3本、衛星通信装置1台等を所持していた。
- 26日、憲兵隊は、オラン県の幹線道路において、走行中の車両を妨害して停車させ運転者から金品を強取していた10人組の犯罪グループを逮捕したと発表。同犯罪グループは、燃やしたタイヤや投石等を利用し、走行中の車両を妨害して停車させていた。
- 4月27日、国軍は4月19日から4月25日までの掃討作戦でビスクラ県においてテログループ支援者1人を逮捕したと発表。